

平成 20 年度バックグラウンド地域における環境監視計画（案）

1. 概要

バックグラウンド地域における大気中有害金属類等の環境監視システムを構築するための基礎調査として、平成 19 年度と同等の測定装置を用いて形態別水銀の連続測定を行うとともに、粒子状物質及び降水に含まれる有害金属類等の測定を行う。

2. 調査地点

辺戸岬大気・エアロゾル観測ステーション

3. 調査期間

平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日（1 年間）

4. 調査内容

調査項目及び調査方法等は表 - 1 に示すとおりである。

表 - 1 調査項目及び調査方法等

区分		調査項目		調査方法	サンプリング時間	測定頻度及び期間
現地調査	大気質	形態別水銀	ガス状水銀(0 価、2 価)、粒子状水銀	Tekran 社製形態別水銀連続測定装置により測定	-	連続測定 × 1 年間
			ガス状水銀(0 価)	環境省マニュアル法により試料を採取し、室内分析	24 時間	約 10 日間 × 2 季
		粒子状物質	鉛、カドミウム、銅、亜鉛、砒素、クロム等(平成 19 年度調査と同じ)	ローボリウムエアサンプラーにより試料を採取し ICP/MS により室内分析	7 日間	1 回/週 × 1 年間
	降水	総水銀	降水捕集装置により試料を採取し EPA method 1631 に準じ室内分析	1 回/週	1 回/週 × 1 年間	
資料調査	気象データ(風向・風速、気温、湿度、降水量、気圧等)		既存観測データの入手・解析による	-	-	

注) 下線は平成 19 年度調査から変更した箇所を示す。